

(リスクアセスメント) 舗装小補修 作業手順書

会社名	中日本ハウエイメン名古屋㈱	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	平成24年4月26日	2tトラック、3tトラック、3tダンプ	コンプレッサー、ブローカー、テッパ	保護帽、手袋、安全靴、安全チョッキ、保護眼鏡、耳栓、防護ネット	合材、乳剤
改訂日	令和4年3月30日	バックホー使用施工ケース ※以下(別途)と表記(4tトラック、0.1~0.2mバックホー)	1t振動ローラー、プレート60kg アスファルトカッター、掃除機	作業人員 5名	ただし(別途)の場合 6名
作成者	(改定者)中村 竜範				
必要資格等	運転免許(普通)、運転免許(中型)、振動工具、ローラー、(小型車両系建設機械)、職長教育講習				
備考					その他

可能性	1.ほとんど起きない(5年に1回程度)	2.たまに起きる(1年に1回程度)	3.かなり起きる(6ヶ月に1回程度)
	頻度率:1	頻度率:2	頻度率:3

重大性	軽微(不体災害)	重大(休業災害)	極めて重大(死亡・障害)
	危険度:1	危険度:2	危険度:3

評価	対策変更の必要なし	対策が必要	即座に対策が必要
	1~2	3~4	5~9

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	評価		危険有害要因低減対策	誰が 点検・確認	対策後		参考因	
				重大性 可能性	頻度率			重大性 可能性	頻度率		
準備作業	・作業前ミーティング										
	1	新規入場者のチェックをする。	現場、施工方法等について十分な知識を有していない。	2	2	4	新規入場教育の受講。	職長	1	2	2
	2	機体状態を確認する。	風邪、飲酒等により正常判断が出来ない。	2	1	2	体調の確認、アルコールチェックを行う。	職長	1	1	1
	3	服装、保安用具の点検をする。	自発光チョッキの輝切れがある。からまんでーの音が鳴らない。	2	1	2	全員で点検を実施する。	全員	1	1	1
	4	機械・工具等の点検をする。	機械、工具が現場にて稼働しない。	2	1	2	作業前点検を行い、機械、工具の点検をする。	全員	1	1	1
	5	朝礼、KYミーティングを行う。	漠然と現場に入り事故を起こす。	2	1	2	KYミーティングにて危険箇所を確認する。	全員	1	1	1
	6	作業手順の確認をする。	各自の作業が分かっていないで、現場で不安全行動を起こす。	3	2	6	個人の作業内容、作業手順を確認する。	全員	1	2	2
	7	規制協議書の確認。	協議書通りの規制でない。	2	2	4	規制作業内容の確認。	全員	1	2	2
	8	車両点検、荷姿チェックをする。	車両の積荷、スベアタイの落下	2	2	4	車両点検、荷姿チェックを自主とメンバ職員にて行う。	全員	1	2	2
9	埋設協議(埋設物)確認	埋設物切断	3	2	6	作業前に全員で協議内容、埋設位置等を確認する	全員	1	2	2	
移動	・現場への移動										
	1	交通ルールを守り運転する。	人身、物損事故。	2	2	4	NEXCOの一端であることを自覚して運転する。	運転者	1	2	2
	2	高速道路に入る前にプレート区域の確認。	プレート区域外使用。	2	1	2	車両点検時、荷姿チェック時に確認しておく。	全員	1	1	1
	3	規制進入時は保安員の指示で進入する。	一般車の逸失、規制内への誤進入。	3	1	3	保安員は適切な誘導を行う。	保安員	1	1	1
	4	ハンドル切、サイドブレーキ、輪止めを必ずする。	車両が動いて、他のものに接触する。	3	2	6	うっかり防止止、3点確認プレートの明示。	全員	1	2	2
5	規制内での移動。	車両同士との接触。	2	2	4	車両の移動は必ず保安員の指示に従う。	運転手	1	2	2	
6		車両と作業員の接触。	2	2	4	保安員は運転手から見える場所で誘導を行う。	保安員	1	2	2	
準備工	・準備工										
	1	台車利用後の車輪止め	風等により本輪に移動し接触	2	2	4	輪止めを確認に行う	全員	1	2	2
	2	ユニック使用時の安全確認	接触及び転倒	3	3	9	作業前の手順確認	運転手	1	2	2
3	夜間作業時は発光機設置	輪止め忘れによる事故	2	2	4	輪止めを確認に行う	全員	1	2	2	
本作業	・カッター、ハツリ工										
	1	適切な保護具の着用。	保護具未装着によるけが。	1	2	2	適切な保護具の着用確認。	全員	1	2	2
	2	職長は、安全管理に心がける。	作業員の不安全行動。	1	1	1	職長は、安全管理・品質管理に留意する。	職長	1	1	1
	3	作業範囲をマーキングする。	一般通行帯に背を向けて作業を行う。	2	2	4	万が一の場合の退避場所、方向の確認。	作業員	1	2	2
	4	マーキング位置にあわせカッターを入れる	切削汚水、切削屑が飛散する。	2	1	2	工事用掃除機の使用、ネット等により飛散防止を行う。	作業員	2	1	2
	5	切草が勝手に動いてしまう。	切草が勝手に動いてしまう。	2	2	4	ブレーキの付いた物を使用する(ブレーキ無しは持込不可)	作業員	1	1	1
	6	ハツリ作業	ハツリガタ飛散による事故。	3	1	3	ネット等により飛散防止を確認にする。	全員	2	1	2
	7	(別途) バックホーを用いてガラを取り除く。	バックホーと作業員との接触によるケガ。	2	3	6	監視員を配置する	全員	1	2	2
	8			1	3	3	単独(1人)作業は行わない。	全員	1	2	2
	9	ブローワでハツリのガラを清掃する。	ハツリガタ飛散による事故。	3	1	3	工事用掃除機の使用、ネット等により飛散防止を行う。	2	1	2	
	・舗装工										
	1	路盤を機械を用いて締め固める。	機械と作業員との接触によるケガ。	1	3	3	機械作業者以外機械には近づかない。	全員	1	2	2
2	乳剤散布。	散布時に作業箇所以外に飛散し、第三者被害。	1	2	2	養生を行う。	作業員	1	1	1	
3	舗設作業。										
4	合材を敷き均す。	合材で火傷する。	2	1	2	手元に注意して作業する。	全員	1	1	1	
5	乾油飛散	乾油飛散	2	2	4	保護具着用	全員	1	2	2	
6	スコップが他の作業員に接触しケガをする。	スコップが他の作業員に接触しケガをする。	2	1	2	お互い周囲を確認して作業する。	全員	1	1	1	
7	レーキ作業員とスコップ作業員の接触。	レーキ作業員とスコップ作業員の接触。	3	2	6	お互い周囲を確認して作業する。	全員	1	2	2	
8	走行車線の上にはみ出し、一般車と接触する。	走行車線の上にはみ出し、一般車と接触する。	3	2	6	監視員を配置し、合図に従って作業する。	作業員	1	2	2	
9	プレートで締め固める。	機械と作業員との接触によるケガ。	2	3	6	機械作業者以外機械には近づかない。	全員	1	2	2	
10	1t振動ローラーで締め固める。	機械と作業員との接触によるケガ。	2	3	6	機械作業者以外機械には近づかない。	全員	1	2	2	
11	表層を仕上げたら養生をおく。										
12	(別途) バックホーで合材を降ろす	作業員と接触	2	3	6	機械作業者以外機械には近づかない。	全員	1	2	2	
13			1	3	3	単独(1人)作業は行わない。	全員	1	2	2	
移動	・現場離脱										
	1	清掃	ゴミが目に入る。	2	1	2	保護眼鏡等を使用する。	作業員	1	1	1
	2	後かたづけ	作業車の荷の落下。	2	2	4	車両移動前、荷姿チェック時に確認しておく。	全員	1	2	2
3	作業車両離脱	一般車両との接触。	2	2	4	ロープがけは必ず車線と反対側から行う。	全員	1	2	2	
4			2	2	4	車両の移動は必ず保安員の指示に従う。	運転者	1	2	2	

共通事項

※ 予定外の作業を行うことになった場合元請会社の担当者に確認したうえで全員を集めて(作業を止めて)手順を周知してから作業を行う
メンテ社員および作業員が機械の使用を理解し扱うように周知する。